

JA京都広報紙「ばあとなあ〜」 に掲載されました②

第2回目は7月号（7月18日発行）に本校生産科学系列3年生 山崎 亮佑くん（大宮中出身）が掲載されました。

農業科目を中心とした授業の様子や放課後の部活動（カヌー部）のことなどこれまでの高校生活について紹介し、将来の展望を語りました。

次回は10月号、1月号でも「農高生のルーキー」というコーナーに本校生徒が掲載される予定です。是非、ご覧ください。

JA京都ホームページアドレス <http://www.jakyoto.com/>

掲載記事は次のページです。↓

管内の農業高校に通う未来の担い手(ルーキー)を紹介します。



やまざき りょうすけ
山崎 亮佑さん [17]
(京丹後市大宮町)
京都府立久美浜高校
総合学科生産科学系列
3年生

1997年 京丹後市大宮町に生まれる
2012年 地元の公立中学校を卒業後、京丹後市久美浜町の久美浜高校に入学

環境について学び、
農業も実践したい

久美浜高校に
進学したきっかけ

祖父が家庭菜園をしていて、小学校の頃に野菜や果樹など収穫の手伝いをしていました。農業にはなじみがあったのと、カヌー部に興味があったので迷わず当校への進学を決めました。

現在の取り組み

1年生で農業の基礎を学び、2・3年生になるとハウスや果樹園でより実践的なスキルを学びます。果樹栽培は特に興味のある分野で、大好きな梨やメロンなどおいしさを追求した栽培にも挑戦しています。

学校生活で楽しいこと

体を動かすことが好きなので、体育の球技や生涯スポーツでゴルフの打ちっぱなしなどが特に楽しみです。時には厳しく、時には親身になっ

て相談に乗ってくださる先生方に囲まれて、授業や部活など学校生活全てが充実しています。

将来の夢

先輩が東京の大学でカヌーを続けているので、私も同じ大学への進学を目指しています。地球環境を学びながら、将来的には地球温暖化防止につながることや、農業などで環境に優しい取り組みを実践できたらと考えています。

クラブ顧問の
安井先生から



生活や授業態度など、カヌーに出会ってからダイナミックに変化したと思います。これまでにないがんばりを見せてくれているので、8月に地元久美浜で行われるインターハイでの活躍を大いに期待します！

私のお気に入り「摘果バサミ」

摘果や果実の収穫などに欠かせないバサミです。野菜のおき芽除去などにも使えます。毎日使うものなので睡から下げている



愛用品のウイルスなど感染予防のため、使用後はアルコール消毒を行います。

実習テーマ「ハウス温室での栽培」

トマトやメロンなど、栽培記録を付けながら管理しています。メロンは糖度を重視した立体型二本仕立てで、7月末の収穫を前に結束機を使った誘引と最後の摘果を行いました。



取材協力
京都府立久美浜高等学校

〒629-3444
京丹後市久美浜町橋爪65
TEL.0772-82-0069
FAX.0772-82-0690
http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/

〈学科〉
総合学科

1日のスケジュール

午前
果樹の実習。8月～10月に収穫する梨5品種の管理作業で、主に摘果と袋かけ作業をしました。

午後
病害虫予防のための輪作導入や、抵抗性品種の導入などについて学びました。

クラブ活動
片ひざを立てパドルを漕ぐカナディアンでインターハイの予選会に臨み、本大会ではC-2(2人乗り)、C-4(4人乗り)に出場が決定しました。朝は始発に乗り7時から久美浜湾でトレーニング、放課後は16時から18時半頃まで久美浜湾の水上練習と、トレーニングルームで練習器具を使いながら汗を流します。